

様式 C-17-2 「作成上の注意」

- (1) 用紙は、所定の様式を使用することとし、実績報告年月日は、必ず記入すること。
なお、1枚の用紙の表裏に印刷したものを正・副あわせて2部作成し提出すること。
研究代表者の印は、正本1部に印肉を使用して押印するものとする。正本以外は、印影が複写されていればよく、あらたに押印する必要はない。研究代表者氏名欄は、記名押印又は署名をするものとする。なお、署名のコピーを正本とする場合は押印すること。
- (2) 実績報告書作成にあたり、誤記入した場合は改めて作成し直すこと。（訂正印及び修正液等の使用による訂正は認めない。）
- (3) 「所属機関の本部の所在地」欄について
 - ① 大学、短期大学、高等専門学校等は、「全国大学一覧」、「全国短期大学一覧」及び「高等専門学校一覧」の本部の所在地を確認のうえ記入すること。
 - ② 文部科学省の施設等機関は、「文部科学省職員録」の機関所在地を記入すること。
 - ③ 国若しくは地方公共団体の設置する研究所その他の機関、特別の法律により設立された法人若しくは当該法人の設置する研究所その他の機関又は一般社団法人若しくは一般財団法人は、文部科学省に届けている所在地を記入すること。
 - ④ 本邦の法令に基づいて設立された会社その他の法人が設置する研究所その他の機関又は研究を主たる事業としている会社等であって、学術の振興に寄与する研究を行う研究者が所属するもののうち、文部科学大臣の指定を受けた研究機関は、機関の指定を受ける際に提出した申請書に記載の住所を記入すること。
- (4) 「所属機関・部局・職名」欄について
実績報告書作成時又は平成21年3月31日のいずれか早い時点での部局・職名を記入すること。
- (5) 「シンポジウム名」欄について
平成20年度科学研究費補助金交付申請書に記載したシンポジウム名を記入すること。
なお、シンポジウム名について、変更承認を受けているものは、変更後のシンポジウム名を記入すること。
- (6) 「A」欄について
「A」欄に記入する事業内容について、事業内容の変更承認を受けているものについては、各欄に変更後の内容を記入することとし、「備考」欄に文部科学大臣承認年月日を記入すること。
 - ① 「収録集名称」欄について
収録集の名称を記入すること。
 - ② 「判型」欄について
A4判、B5判などの判型を記入すること。
 - ③ 「ページ数」欄
収録集の総ページ数を記入すること。
 - ④ 「発行部数」欄
収録集の発行部数を記入すること。
 - ⑤ 「発行日」欄
収録集の発行日を記入すること。
 - ⑥ 「費目別収支決算表」欄について
平成20年度に補助金を使用した内訳を円単位で記入すること。
 - 1) 「実支出額の使用内訳」欄について

直接経費については、次の(ア)・(イ)に従い記入すること。

(ア) 使用した補助金のほか、当該事業のために使用した預貯金利息がある場合には、当該預貯金利息も含めて実支出額を記入すること。

(イ) 各費目欄に該当する経費がない場合には、「0」を記入すること。

2) 「交付申請書に記載の補助金の使用内訳」欄について

直接経費について、使用内訳の変更の承認を受けている場合は、変更承認後の使用内訳を記入することとし、「備考」欄に文部科学大臣承認年月日を記入すること。

(7) 「課題番号」欄について

科学研究費補助金の交付決定一覧に記載の課題番号（7桁）を記入すること。

(8) 「機関番号」欄について

各研究機関ごとに定められた科学研究費補助金にかかる機関番号（5桁）を記入すること。

(9) 「B」欄について

① 「収録集刊行の目的」欄について

収録集刊行の目的を記入すること。

② 「収録集刊行の概要」欄について

収録集刊行の概要について記入すること。

(10) 「繰越承認」欄について

繰越承認日及び繰越承認額について記入すること。